

さしているものはどれ

年 組 名前

1、絵を見て「これ」「それ」「あれ」のことばを（ ）に入れましょう。



( ) は、ぼくのボールです。

( ) は、わたしのぬいぐるみです。

( ) は、ぼくのつくえです。

2、こそあどことばのつかい方が正しい文に○をつけましょう。

ア ( ) あそこがぼくの弟です。

イ ( ) どっちへ行くとえきがあります。

ウ ( ) それはわたしのリボンです。

エ ( ) これがテニスボールですか。

3、 のような「こそあどことば」のつかい方をしている文を、——でつながりましょう。

じっさいにあるもの  
ごとをさす

本の中にある、文の  
ことがらをさす

・ぼくのしっぱいを、だれもわらったりしませんでした。

・それが、ぼくにはうれしかったのです。

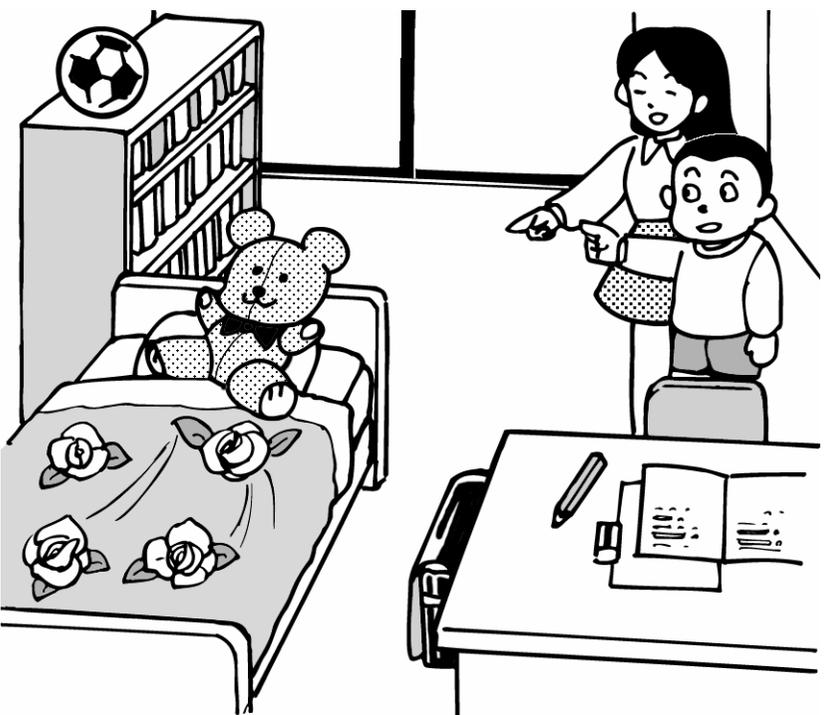
・ここにあるクレヨンは、わたしのです。

・あそこに見えるのがぼくの家です。

さしているものはどれ

年 組 名前

1、絵を見て「これ」「それ」「あれ」の「ことばを」( )に入れましょう。



(あれ)は、ぼくのボールです。

(それ)は、わたしのぬいぐるみです。

(これ)は、ぼくのつくえです。

2、こそあど「ことば」のつかい方が正しい文に○をつけましょう。

ア( ) あそこがぼくの弟です。

イ( ) どっちへ行くとえきがあります。

ウ( ) それはわたしのリボンです。

エ( ) これがテニスボールですか。

3、 のような「こそあど」のつかい方をしている文を、——でつながりましょう。

じっさいにあるもの  
ことをさす

本の中にある、文の  
ことがらをさす

ぼくのしつぱいを、だれもわらったりしませんでした。  
それが、ぼくにはうれしかったのです。

ここにあるクレヨンは、わたしのです。

あそこに見えるのがぼくの家です。